

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和2年10月15日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和2年10月13日（火） 13時15分～14時00分
開催場所	第3庁舎 4階 庁議室
出席者職氏名	〔担当部課〕 北村教育政策部長、大熊教育政策部次長、山本生涯学習課長、浅見生涯学習課主幹 〔政策推進会議メンバー〕 尾崎総合行政部長、川幡総務部長、松永市長公室長、榎本人事課長、近藤財政課長、外立秘書政策課長 〔関係部課〕 土岐いろは遊学館長、桜谷柳瀬川図書館長 <p style="text-align: right;">（計12人）</p>
欠席者職氏名	<p style="text-align: right;">（計 0人）</p>
説明員職氏名	山本生涯学習課長 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議 題	志木市生涯学習推進指針の改定について
結 果	志木市生涯学習推進指針の改定内容について、再度教育委員会内で協議を行うこととなった。
事務局職員職氏名	松田秘書政策課副課長、平間秘書政策課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

外立秘書政策課長が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<志木市生涯学習推進指針の改定について>

- ・山本生涯学習課長より、志木市生涯学習推進指針の改定について概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

生涯学習推進指針の計画期間が令和2年度をもって満了することから、改訂するものである。改訂の主な内容としては、平成29年度に制定した「志木市子どもの健やかな成長に向け家庭教育を支援する条例」の内容を盛り込むとともに、田子山富士塚が国重要有形民俗文化財の指定を受けたことから、地域と文化財をつなぐ事業の展開に関することや、学びを通じたSDGsの推進の項目などを新たに追加したものである。

メンバー：新型コロナウイルス感染症対策について言及されていない。指針なので細かくなくてよいと考えるが、ソーシャルディスタンスを確保することやオンライン講座の実施など、「新しい生活様式」を踏まえた対応について記載するべきではないか。

メンバー：指針の中で「志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）」と志木市教育大綱の関係性を再度整理する必要がある。

担当課：指摘事項を踏まえ、再度検討したい。

○結論

志木市生涯学習推進指針の改定内容について、再度教育委員会内で協議を行うこととなった。

3 閉会

外立秘書政策課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。